

# 八代市水道事業経営戦略 令和4年3月【改訂版】

平成29年度（2017）～令和8年度（2026）

## 【概要版】

### 1. 計画策定の背景と目的

本市の上水道は、昭和30年8月の給水開始以来、第1次から第5次にいたる拡張工事を行い、水道未普及地域を解消しつつ、安全でおいしい水の安定供給に努めています。

また、下水道事業と連携し同時施工による給水区域内の普及率向上と適正な水道料金による健全で安定的な経営を目指しておりますが、今後は、老朽化した施設改修や設備更新等の課題への取組が必要とされており、住民のニーズや地域の自主性を生かしながら創意工夫した取組を進めていく必要があります。

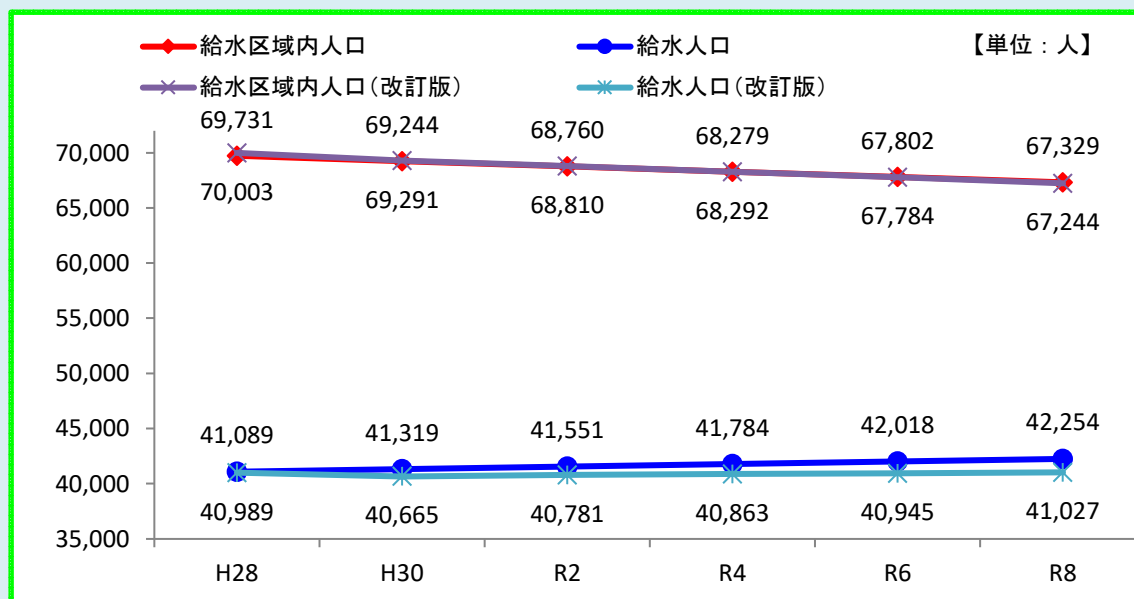
公営企業では、保有する資産の老朽化に伴う大量更新期の到来や人口減少等に伴う料金収入の減少等により、今後、経営環境は厳しさを増していくことが予想されています。そこで、将来にわたってもサービスの提供を安定的に継続することが可能となるように、総務省では、全国の公営企業に対し、「経営戦略」を策定し経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組むことを要請（H28.1月通知）し、本市においても平成29年3月に八代市水道事業経営戦略（H29～H38）を策定しました。

なお、経営戦略については、策定から5年が経過しますが「5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項」において毎年度検証を行うとともに、3～5年ごとに見直しを行うこととしており、給水人口及び有収水量等の状況変化を踏まえた収支計画を中心に見直しを行っています。

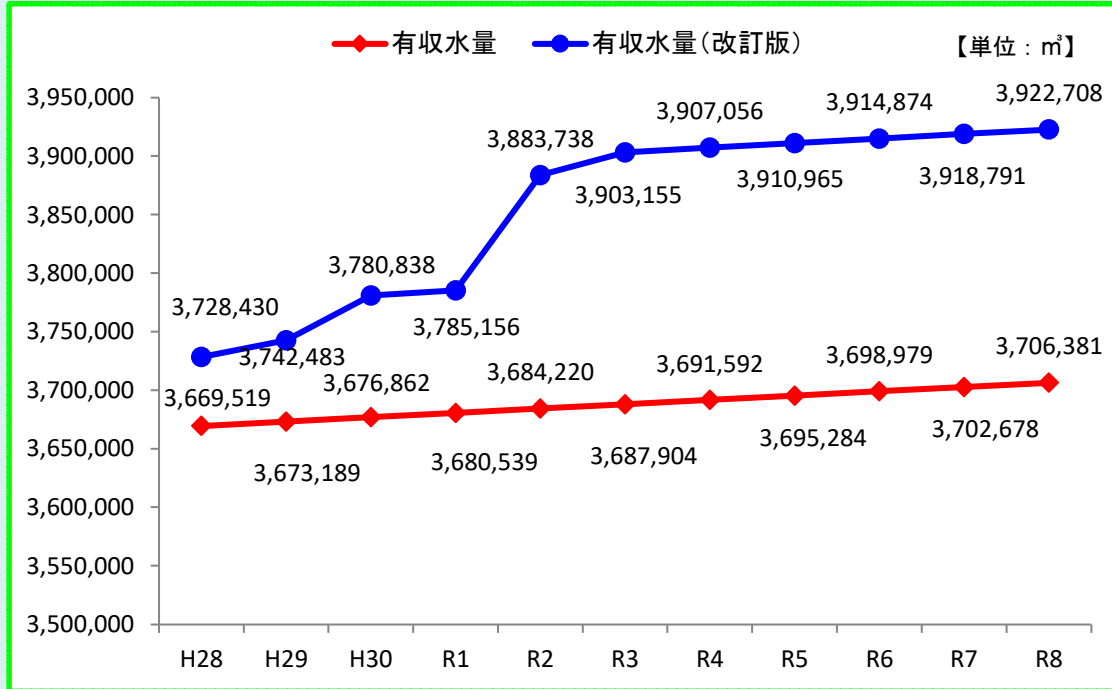
### 2. 将来の事業環境

水道事業は、水道料金によって運営を行っており、水需要の増減によって収支が大きく変化します。

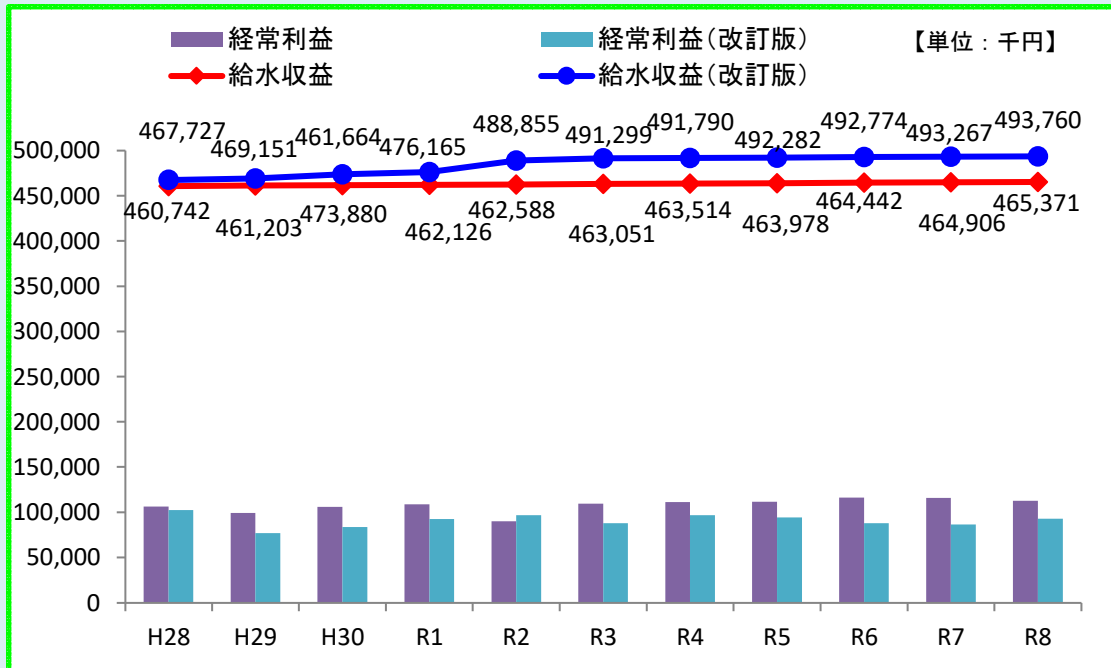
下表のとおり、給水区域内人口は、引き続き減少していく見込みですが、給水人口については、当初計画ほどの伸びはありませんが、下水道工事との同時施工など拡張事業の継続により微増を見込んでいます。



水需要の推移は給水人口とリンクしており、料金収入の対象となる有収水量は、当初計画を大きく上回る見込みです。今後の課題としては、有収率（R2年度実績：74%）が類似団体の平均を下回っているため、漏水調査や老朽管の更新を行うなど漏水対策に取り組むことで、効率的な水道水の供給を目指します。



給水人口及び有収水量の増加に併せて、当初計画を上回る給水収益の増加を見込んでいます。そのため、計画を若干下回る経常利益の見込みとなりますが、消費税増税分を除く計画期間内の料金改定は想定していません。



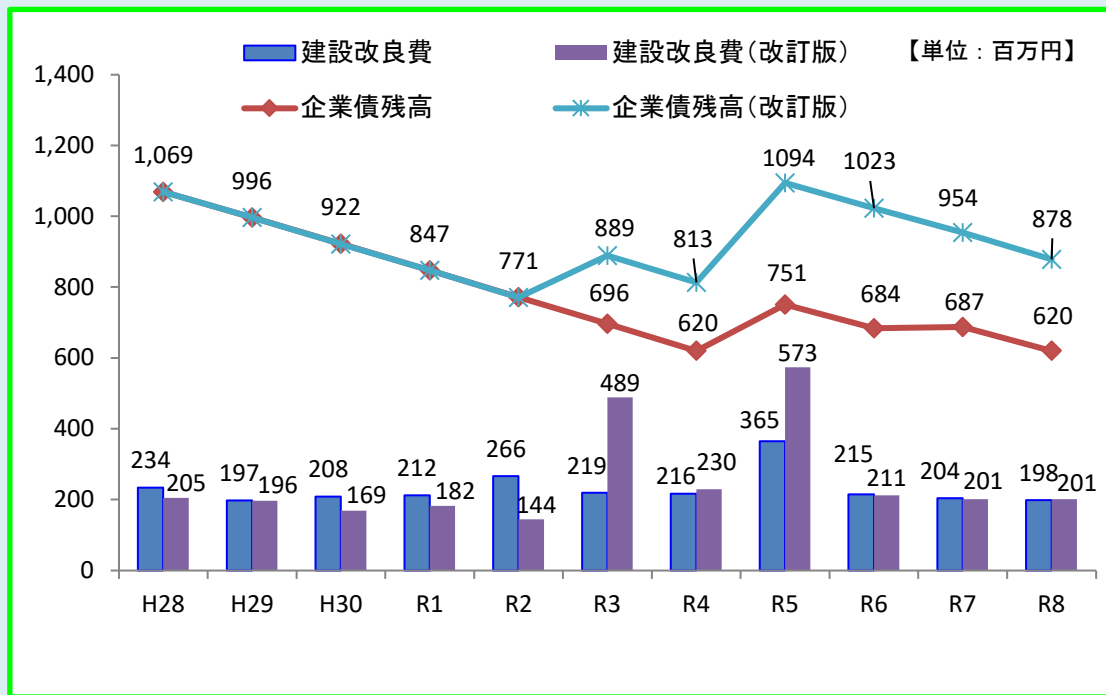
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
経常利益	106,377	99,303	105,764	108,798	89,978	109,595	111,169	111,696	115,987	115,816	112,591
経常利益(改訂版)	102,319	76,880	83,472	92,358	96,542	87,912	96,718	94,184	87,830	86,403	92,959

### 3. 投資・財政計画

令和3年度に新庁舎建設に伴う松江城水源地新設工事、5年度に日奈久浄水場・配水池改良工事を実施予定ですが、当初計画を上回る事業費見込みのため、建設改良費及び企業債残高の見直しを行っています。

今後も引き続き、拡張事業をてい減させていながら、水道施設の耐震化・更新等の事業を積極的に進め、水道水を安定して供給し続ける強靱な施設づくりを行います。

また、計画的な設備投資を行うなかでも新たな企業債発行を抑制し、企業債残高の縮小に努めます。



### 4. 今後の取り組み

業務の効率化を図るため、平成30年度より検針業務を含む水道料金徴収事務等窓口業務委託を実施しました。また、施設の運転管理業務については、既に民間委託を行っていますが、その他の業務におきましても民間委託することでサービスの向上、コスト削減につながる分野については、引き続き検討を行い、更なる経費削減及びサービスの向上を目指します。

なお、本経営戦略は10年の期間を設けて策定しており、今後も経営分析表の公表を行うとともに、計画の検証及び見直しを行ってまいります。